

あわべに 淡紅だより

2025 年 百日紅の号 No. 85

みとめあい わかちあい まち
“あなたと、寛容 共生の宝塚に”

宝塚市議会議員

おおしま ときこ
大島淡紅子

■ 議員控室

- Tel (0797)77-1271
- Fax (0797)74-1810
- E-mail goiken1955@gmail.com

■ 事務所（月～金 10:00～15:00）

- 〒665-0816 宝塚市平井 1-6-7-105 ピアハイツ
- Tel&Fax (0797)89-4090
- HP <http://ayumukai.jp/>
- E-mail o-ayumukai@poem.ocn.ne.jp

兵庫県丹波市で日本最高気温
41.2℃を記録した暑い夏、私は初の参院選選挙区
選挙を闘いました。ご協力に深謝いたします。し
かし、候補者や選対関係者だけでなく、選挙人や
投開票事務員に関しても、もう夏に選挙を
執行するのはやめるべきと強く思います。



9 月になって夜風の変化を感じますが、まだま
だ 10 月まで暑さはつづく予想です。ネッククー
ラー、公共施設でのクールシェアなどお金をかけ
ずとも COOL にクールダウンして、身体や脳へ
のダメージを減らしましょう！



【議会報告】 6 月議会 主な議案・請願・陳情の審議

一般会計補正予算

■予算

➡修正案／賛成少数 否決

賛 結志・維新・真政 棄 おだ

➡修正部分を除く原案／全
員一致可決

…2025 年度の予算は、3 月の
骨格予算と（市長選挙のため。
義務的経費・経常的経
費・継続的な経費・市民生活
に密着した事業経費のみ計
上）、6 月の肉付け予算（補正
予算で政策的な経費を主に計
上）に。森市長曰く「今回は
肉削ぎ予算」。948 億 2,440 万
4 千円（7 億 906 万 9 千円の
減）。重点は①市民との対話、
②市立病院のあり方、③公共
交通のあり方、④市長給与の
半減。予算委員会最終日で、
障害福祉基金※の毎年の積立額
2 億 7,700 万円を見送る修正案
が提出されたが、①基金成立
時の経緯から、②今年は 2 億
6,500 万円使う、③市民らと使
途など基金に関する民主的な
協議会を始動、これらに反す
るという理由で反対した。

他に質したことは、

- ・地域公共交通顕彰事業、
- ・（都計）荒地西山線整備事業、
- ・自転車取締り、
- ・野外体験活動、
- ・東公民館図書館分室 等



障害福祉基金とは

国の社会保障制度が十分では
なく、障がいのある方への所得
保障を目的とした市民福祉金（母
子・父子・遺児の福祉金相当分
は子ども未来基金に積み立て）を
個人支給していたが、2017 年
障がい者の課題やニーズの変化・
多様化に対応するため付帯決議
付きで廃止。毎年福祉金相当分
と同額（約 2 億 7,700 万円）を積
み活用。

特別職職員の給与に関する条例等 の一部改正

■都市経営

➡賛成多数可決

反 市民ネット

…8 月 1 日から特別職の月給を
減額。特に市長の 50% 減は改
革への決意と覚悟。永続ではな
く市長の覚悟を尊重し、賛成

市議の議員報酬・費用弁償等条例 の一部改正

■都市経営

➡賛成多数可決

反 村松以外の維新・泉

…国の法律に準じ、昨年からの
市特別職期末手当を年 3.4 か月
から 3.45 か月に。支給は引き
上げない

持続可能な福祉制度と財政規律の 確立を求める決議

■都市経営

➡賛成少数否決

賛 維新・結志・真政 棄 おだ
…予算委で議論済みの内容のため、当事者らの思いも酌み反対

和解について

■都市基盤

➡全員一致可決

…市庁舎前ひろば整備工事で市
庁舎のネットワークケーブル損
傷事故が発生。配管図面は業者に
渡していたが、調停ではケー
ブルへの情報提供不足と、復旧
費 1,454 万 3,638 円の 6 割の損
害賠償金 872 万 6,183 円支払
いで和解。一般会計補正予算は
948 億 3,313 万 1 千円に。

副市長の選任

➡ 全員一致同意

■都市経営

…企画経営部長・経営改革推進部長・都市整備部長を歴任した吉田康彦さんを技術的部門担当の副市長に任命、二人体制に。専門性を活かし、議論の深まりを期待する

市職員の育児休業等に関する条例の一部改正

➡ 全員一致可決

■都市経営

…人事院の法律・規則改正に準じ、部分休業制度を①1日2時間以内、②1年10日以内、の選択制に拡充

下水道事業会計補正予算

➡ 全員一致可決

■都市基盤

…収益的支出：45億7,498万1千円(100万円増)、資本的収入：26億9,982万3千円(5,900万円増)、資本的支出：42億8,065万1千円(5,900万円増)。武庫川ポンプ場改築は日本下水道事業団に委託、下水道課に余力はない。建物が観光の要所に在り見栄えにも配慮を！また星の荘地区から大堀川へバイパス管設置も

消防救急デジタル無線機（携帯型移動局無線機）の取得

➡ 全員一致可決

■都市基盤

…(株)国際電気西日本支社から1,501万8,300円で41台を更新(耐用年数10年)し、消防署や出張所に38台、消防団に3台配置。一般消防団員にはトランシーバー配備

損害賠償の額の決定

➡ 全員一致可決

■都市基盤

…市ごみ収集車が転回時に停車中の小型貨物自動車に接触、相手方を負傷させた過失で、161万532円賠償。運転手には指導・安全運転講習受講、誘導の徹底。事故経験者は年2回実地講習ほか取組を継続。民間事業者からは事故報告も

豊かな教育を実現するための義務教育費国庫負担制度の堅持を求めめる請願

➡ 全員一致採択

■子ども教育

…教育の機会均等と水準の維持向上のため、地方財政を確保した上で、義務教育費国庫負担制度の堅持を求める。県会からも同様の意見書が提出された

学校給食の実施条例一部改正

➡ 全員一致可決

■子ども教育

…12月議会で行った来年度以降の学校給食費値上げを、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金支給で1年延期するため

地産地消・自校調理の学校給食無償化を求める請願

■子ども教育

➡ 賛成少数 不採択

〔賛〕 共産・北山・大島淡

…①学校給食の無償化(所得制限のない、段階的实施を含む)②自校調理設備の維持・改善に努め、地産地消を貫く を求める。伊丹市・三田市は今年度から中学校のみ無償化。全額市負担で交付金抜きで小中特計7億7,100万円。国が動き出している後押しとして自治体が動くことが重要。)例えば親の収入がまだ少ない小学校1年生を対象にするなど子どもの育ちへの姿勢として、また団体でない2千人強個人の願いを酌み、代表紹介議員になり賛成討論も行った

再審制度の議論促進を求める意見書提出の請願

➡ 全員一致採択

■都市経営

…再審請求に必要な証拠のほとんどは警察・検察が持っており、証拠開示には規定や開示義務はない。また再審開始決定に対する検察の不服申立(上訴)で裁判が長期化し、途中当事者死去という悲劇も(狭山事件等)。冤罪をなくす機運が高まるこのタイミングで、意見書提出には相当な意義がある

市立病院の名称変更の請願

➡ 継続審査

■都市経営

…寄付者への謝意や顕彰を表すため、市立病院の名称に「冠」を付すなど。しかし市は別方法を模索中。見守ることに



一般質問

1. ギャンブル依存症について

🗨️ 職員への研修は今年度はどうするのか

📌 今年度は予定していないが、今後も県の実施事業などを活用しながら啓発に取り組む

🗨️ 相談窓口の検討はどうなったか

📌 講座の内容も踏まえつつ、対象者には丁寧に聞き取りを行い、支援者につなげる



◆「ギャンブル依存症（ギャン依）」は、大谷選手の水原通訳者の事件で周知されましたが、そもそも我が国は世界有数のギャン依大国！2017年の全国調査では、他の先進国1%前後発症と比べて3.6%と突出しています。（男性6.7%女性0.6%）パチンコ・パチスロの遊技人口は1989年2,990万人が、30年間で3分の1以下に減少。しかし市場規模は15兆3,000億円から19兆5,400億円へと拡大。つまり1人の遊戯費用が年間約50万円から217万円と4倍以上に！この傾向は、公営ギャンブル全般に言え、購入方法や条件も緩くなっています。

◆ NHKの「オンラインカジノ（オンカジ）」番組では、海外のオンカジ元経営者が「利用者が依存症になるようにデザインされている」と証言。設計開発者も「利用者の個人情報徹底的収集、未来行動を予測。のめり込むよう、負けたらボーナスを与え、たまに勝たせるなど、依存症に陥れる“人間操作”を行っていた」と。血の気が引きました…

◆警察庁初の実態調査では、国内での経験者は336万8千人（人口の3.5%）。現在もユーザーと答えた人は196万7千人（2.0%）、年間の賭け金の総額は1兆2,400億円と推計されています。オンカジの特徴は①24時間遊べる、②擦るのも速い（かつては7年で出来た借金が今や1週間）、⑤金銭感覚の麻痺、④20代や30代が中心だが、10代も推計17万人、⑤犯罪行為に手を出す者が46.2%。中には闇バイトも、⑥60%がギャン依の自覚がある、⑦短期間で依存症に、⑧違法だと「知らなかった」経験者が52.7%と半数強。

◆オンカジ規制強化に向け改正ギャンブル等依存症対策基本法が6月成立。国や市に、オンカジの存在と違法性を周知徹底の義務化。それでも、小・中学校や市役所を含めた企業への働きかけは無く。しかし、小・中学生のゲーム障害は社会問題化し、横領等企业犯罪で一番多いのは自治体職員と銀行員です。だからこそ大学生からでは遅く、青少年への予防教育が必要。（公財）ギャンブル依存症問

考える会の啓発ポスター



題を考える会の職場向け啓発動画8本で、職員研修を行い、一般開放して商工会議所に呼びかければと提案しました。

◆専用相談窓口として、まずは電話やメールの窓口を設置、家族会や自助グループのチラシの市税収納や市民相談の窓口・サービスステーション配置を要望しました。

◆講演会でのご家族同士の支え合いを拝見し、ご家族は孤立感が無くなり、やがて他人のために尽力する力が引き出される—このエンパワメントは当事者にも及び。

◆ギャン依はドーパミンという物質を媒介にして脳に障害を引き起こす脳疾患。変質した脳は元に戻せませんが、人生の主導権を取り戻すことは出来ます。そんな「パーソナルリカバリー」を後押しする宝塚市を願っています。

2. 子どもたちにとって楽しい学校園であるために

（1）中学校文化部の部活動地域移行について

📍地域移行へのスキームと今後の見通しは



A基本方針に基づき、26年度コンクールや発表会の後に完全移行。9種類38部活のうち、放送部が学校運営上必要で、活動形態の変更も含め検討中。吹奏楽・コーラス・手芸・茶華道は協議調整中。SNSやYouTubeなどICT使用の活動や囲碁などの文化芸術分野が広がるよう取り組む

📍吹奏楽部の見込みは

A指導希望の教員を中心に2団体の設立を見込む。幅広い年代の演奏団体の受入れも協議中

◆21年市の部活動白書では、部活動は楽しいと肯定する生徒は83%。自由記述でも肯定的意見が53.7%を占めます。一方、教職員は、生徒の成長や人間関係に寄与、安心できる居場所の提供が78~94%と多く。同時に73%が

課題に専門技術の不足を指摘。その他、「指導方法や部活動のあり方など研修が必要」「外部指導者の活用や外部委託可能な制度を」など、指導の専門的な研修の機会、部活動のあり方の検討を望む意見があり、部活動の地域移行に

至った経緯も理解出来ます。

◆他校へ通うための移動手段や保護者の金銭的負担の増加など課題も山積。宝塚の文化とも言える中学校吹奏楽部を守っていただきたいと引き続き注視していきます。



そのために教職員は様々な研修を通して対応について学ぶ。ACE の視点での研修も今後検討

